



碧南ロータリークラブ週報

第3168回例会 令和8年6月10日(水)

- 会長 黒田 泰弘
- 幹事 永坂 誠司
- 会場監督(SAA) 長田 一希

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <https://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp

- 会報委員 杉浦邦彦・長田康弘・杉浦秀延

2025-2026 年度
国際ロータリー会長メッセージ

**UNITE
FOR
GOOD**

よいことの
ために
手を取りあおう

● 斉 唱

ロータリーソング「我等の生業」

● 本日のお弁当

大正館

会 長 挨拶

失礼致します。

先日発生致しましたフィリピン南部沖の地震では、多くの被害が発生致しました。犠牲になられた方々には、心よりお悔やみ申し上げます。我が国も地震大国ですので、会員の皆様方にも日頃からの心掛けと備えだけはしておいていただきますよう、お願い申し上げます。

数日前、杉浦秀延さんが「卓話で紙芝居をやりたいので、街頭紙芝居用の自転車を貸して欲しい」と言われました。私は紙芝居コレクターとして、平成22年3月24日に卓話で「街頭紙芝居の愉しみ」と題して、栄のサンシャインビルの名古屋麵屋横丁解体工事から出た鉄くずの引き取りのついでにいただいてきましたレトロセット一式を背景に飾りまして、街頭紙芝居の解説をしたことがあります。その時にご紹介したのが、「大鵬物語」でした。相撲関係で言えば、もう1つ江戸時代に活躍された「雷電為右衛門(らいでんためえもん)」もあります。

週報のバックナンバーで調べましたところ、当時の会長は鈴木並生さん、副会長は原田達八さん、幹事は長田豊治さん、SAAは新美真司さんでしたが、もう誰もいらっしゃいません。ちょうど杉浦保子さんが入会直後で、杉浦秀延さんはまだ入会前でしたので、「自転車を持っていることを何故知っているのですか」とお聞きしましたら、「黒田さんがPTAの会長の時、子ども向けに学校でやったじゃないですか」と言われ、謎が解けました。その時やったのはこ



黒田泰弘会長

の「幸子と小犬」の全4巻でした。

以前は子ども向けに色々やっていたしまして、杉浦エレクトが「消防団のご家族を交えての懇親会があるので、子どもの退屈しのぎに何か遊び道具はありませんか」と聞かれ、射的セットなどを衣浦グランドホテルに持ち込み遊ばせていたこともありましたが、しかし、一番真剣に遊んでいたのは前碧南市長の禰亘田さんでした。昭和100年の節目の今年は我々業界関係者も全国各地でのイベント開催で忙しくしています。このような子ども向けの物がご入用の際は、どうぞ気軽にお声掛け下さい。

次にご紹介致しますのはキャラクター物として人気のある「月光仮面」と「鉄人28号」ですが、本日の卓話時間が20分程度とお聞きしていますので、時間調整として、1つだけ内容をご紹介します。見どころは極彩色の構図と手慣れた絵師による筆遣いです。あと「黄金バット」だけは欲しいのですが、いまだに見つかりません。私の探している物は戦後の黄金バットですが、先日、「開運！なんでも鑑定団」に登場した黄金バットの紙芝居は、昭和6年に永松健夫さんが描いた大珍品の黄金バット36枚で、何と200万円の評価額でした。

この「コケカキイキイ」は私のコレクションの中では少しレアな物で、1935年～1955年の長きにわたり続いた可能性があるものです。水木しげるさんも神戸にお住まいの頃、紙芝居のコケカキイキイに影響され、後に同名の漫画を出版されています。

水木しげるさんと言えば、以前、まんだらけのオークションに出品された水木しげるの手描き紙芝居「人鯨（にんげい）」は、第2巻の全10枚セットで、約550万円という破格の値段で落札されています。鯨の肉を食べ続けた人間が「人間クジラ」になるといった内容ですが、ご本人も記憶がないほどの代物で、長年「実物が存在しない」と言われていたため、市場に出たこと自体が非常に大きなニュースになりました。

テレビのない時代の子どもたちにとっては唯一の映像娯楽であり、また日本独自の文化遺産と言っても過言ではない街頭紙芝居はまだ未知の部分も多く、これからも研究し続けて行きたいと思っています。

以上、前座を務めさせていただきました。おしまい！

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 第12回理事会報告につきましては、幹事報告書の通りでございます。
- ・ 西尾 RC より「ビジターフィー変更のお知らせ」が届いております。
- ・ 中部経済新聞社三河支社より「例会予定 掲載終了のお知らせ」が届いております。



永坂誠司幹事

委員会報告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 60 名 (内出席免除者 16 名の内出席者 14 名) 出席者 55 名	
出席対象者 55 / 58 名	出席率 94.83%
欠席者 5 名 (病欠者 0 名)	

<ニコボックス>

- 黒田 泰弘君 先週、ロータリークラブ代表として、防犯協会連合会総会と消防団観閲式に出席させて頂きました。地域貢献されています多くのメンバーの皆様には心より感謝致します。
- 杉浦 勝典君 梅雨に入りました。千福齋宮社のあじさいがきれいに咲きました。14日には、あじさい祭りを行います。皆様もお出掛け下さい。
- 新美 宗和君 碧南高浜防犯協会連合会の顧問を退任できました。新会長の伊藤正幸さん、がんばって下さい。顧問になる杉浦秀延さん、ご苦労様です。
- 竹中 誠君 先週の金曜日に米国のポートランド市よりプレストン夫妻、シアトル市よりウェイン夫妻が来宅して、楽しい一日を過ごしました。
- 長田 和徳君 昨日、中川さんには大変お世話になりました。
- 岡島 晋一君 } 6月7日(日)碧南市消防団観閲式を無事開催することができました。ご
鈴木 洋君 } 臨席いただきました、黒田会長、長田会頭、歴代団長であります角谷信
倉内 松雄君 } 二さん、杉浦栄次さん、長田康弘さん、臨海工業地帯防災連絡協議会 中川
会長、プライベートで木村徳雄さん。お忙しい中、そして悪天候の中ありが
とうございました。
- 杉浦 秀延君 本日の卓話、駆逐艦「磯風」軍医長 山中寛三物語ロータリーバージョンを
させて頂きます。よろしく願い申し上げます。
- 山口日出子君 先日は伊藤先生大変お世話になりました。どうぞ引き続きよろしく願い
いたします。
先日は、大竹密貴様、石川鋼勇様に大変お世話になりました。
- 鈴木 洋君 } 観閲式後の法被会では、角谷信二さん、杉浦栄次さん、長田康弘さん、石川
倉内 松雄君 } 鋼逸さんに大変お世話になりました。
- 小林 清彦君 2027年度開設に向けて進めている「100年PLAZA」が、中日新聞に掲載していただきました。障がい福祉における「18歳の壁」や「親亡き後」の不安を少しでも減らしていき、より良い地域を創る為、一步ずつ頑張ります。
- 亀山 晋次君 黒田会長、ご厚志ありがとうございました。ゴルフ部会、本日京都を満喫してまいります。良邦さんおすすめのお店、ご教示下さい。

岡田 竜治君 本日この後、京都遠征。トラブルない様に願ってます。

卓 話

「駆逐艦『磯風』軍医長 山中寛三物語（紙芝居）」 会員 杉浦秀延君



杉浦秀延君

失礼致します。

クラブ会報委員会の杉浦秀延でございます。本日は紙芝居ということで、手作りしてみました。

そもそも私と山中寛三先生との出会いは10年前の6月で、私がロータリークラブに入会してまだ4ヶ月の頃でございます。インフォーマルミーティングが衣浦グランドホテルでございまして、新人で右も左もわからないところにお呼びがかけられて、「杉浦君、山中先生がお呼びだから先生の方へ行ってください」と言われたんです。しかし、雲の上のようなお方が何で私が指名をされたのか今でもわかりません。



その中で述べられたお言葉を今でも鮮烈に覚えておるんですが、「杉浦君、私は昭和18年10月、海軍軍医に任官した時点で、この戦争は負け戦であるともうすでにわかっていたんだ、なぜなら電探があるからだ」というふうにおっしゃいました。私は電探とは何かなと思ったんですが、電波探知機のこと、今で言うレーダーだそうです。「これでアメリカは日本軍を一網打尽にするから勝てる訳ないよ」とおっしゃいました。

それから何でかよくわからないんですが、帰りまして、後日、その話を大正館の杉浦保子さんに話をしたんです。そうしたら、「杉浦さん、山中先生を知る良い本があるから、これを読んでください」と言われ、その本をお借りしました。それは「私の身辺雑記帖」という本でございます。保子さんに言わせれば、「寛三先生の形見なんです」というそこまで思い出があるそうです。

その本を読み進めていくうちに「こんな凄い先生が見えるんだ」とびっくりしてしまいまして、これは何としてでも後世に語り継いでいかねばならないと思い、紙芝居を作った次第でございます。このお話は10分弱程度でございますが、終了した後、関連したクイズを5つ用意しております。お話の中にちょっとしたヒントがございますので、よく見ていただければと思います。

それでは前置きはこのくらいにしまして、「駆逐艦磯風 軍医長 山中寛三物語」のはじまりはじまり。

時は昭和20年4月7日、山中先生は戦艦大和の随伴艦「磯風」の軍医長として、沖縄特攻作戦（菊水作戦）に参加されました。おびただしい砲弾の中、自らも負傷し、眼鏡も吹き飛ばされ、視界がぼやける中、自分のことよりも命の瀬戸際にある兵士たちを不眠不休で救い続けました。ほとんどの方が海の藻屑と消える中、奇跡的に生還されました。先生はこの時ほど

命の儚さを誰よりも強く感じたと思ったそうです。

時代はワープしまして、その昔、碧南市の前身であります碧海郡旭村、とても賢い男の子がいました。お父上は町の頼れるお医者さん。「自分もお父さんのような医者になって、病気の人を助けたい」という大きな志を持った寛三少年は一生懸命勉強して、医大へと進みました。

戦争が終わりました、奇跡的に復員された先生でしたが、休む暇もありませんでした。「もっと腕を磨いて、故郷の人たちを助けなければ」との思いで大学の医局で外科を学び直し、最先端の医術を身につけていきました。

昭和 22 年 5 月、お父上の医院を継いだ先生は夜中だろうと雨の日だろうと電話があればすぐに駆け付けます。「寛三先生が来てくれれば安心だ」町の誰もが何でも相談できる先生を親しみと尊敬を込めて「寛三先生」と呼んでいました。

先生の活動は医療だけにとどまらず広がっていきます。昭和 34 年、ロータリークラブの設立と同時にチャーターメンバーとして入会し、他業種の人々と交わりながら、学校医としても活躍をしました。全てはこの町で暮らす人々の幸せのためでした。医療機関と行政が一体となって連携する「健康を守る会」の設立に奔走し、住民検診時に被ばく線量を抑えたレントゲン撮影を日本で初めて採用しました。その後、「チーム医療ができる町に大きな病院を作ろう」と市民病院の建設陳情から 25 年もかかって、ついに昭和 63 年 5 月に開設致しました。

医療だけではなくありません。先生は子どもたちの未来を支える教育についても深く悩みました。学校で、家庭で、そして社会で、人はどうあるべきか、生涯その正解を求めて歩み続けました。それは戦争で戦陣に散り、戦火に倒れた多くの戦友のこと、苦しい時代を生きた者として戦後片時も忘れず、終戦記念日の 8 月 15 日には必ずご冥福をお祈りされておられました。昭和 49 年、この思いは市民憲章の制定につながりました。

長年の献身的な活動が認められ、先生は平成 6 年 11 月に叙勲を受賞され、また平成 14 年 4 月には碧南市の名誉市民となりました。

熱血で清廉潔白、行動力の高さを持ち合わせた山中先生のご活躍は、人生 100 年時代と言われる現代において地域医療の礎を築き、その足跡は碧南市の歴史として多くの市民に語り継がれており、人望が厚く、心温かく優しいお人柄は、常に人々の敬愛するところでありま。先生のお志を子々孫々と後世に伝えることが、今を生きる私どもの使命であると存じます。

そして今もなお、戦艦大和と駆逐艦磯風の沈没地点に近い鹿児島県徳之島伊仙町と鹿児島県枕崎市では、毎年 4 月 7 日、町をあげて戦没者の慰霊祭が開催されております。

というようなことで、今回の紙芝居はいかがでございましたでしょうか。簡単ではございますけど、自分の思いを全て紙芝居にぶつけてみました。今後も我らの山中寛三先生の生き様を皆さんの後輩やお子様伝えていただくのが、ロータリアンの 1 つのお仕事ではないかなと思いますので、よろしくお願い致します。

本日はどうもご清聴ありがとうございました。

次回例会案内

令和8年6月24日（水）定款第7条第1節（d）による休会

令和8年7月1日（水）定款第7条第1節（d）による休会

令和8年7月8日（水）クラブフォーラム「役員挨拶」